

2011年5月7日

国土交通省への要請(5月6日要請事項に※以下を追記)

流出解析法のレビューに関するワーキンググループ

手法の評価に当たっては、その詳細な記述が不可欠である。以下の文書を提出すること。

1. 現行手法について：

- (1) 用いられている式
- (2) パラメータの意味・単位・推定手法
- (3) 解析時間間隔
- (4) 降水データ（地点数・位置・時間間隔、サブ流域平均雨量推定手法の詳細）

2. 新手法について：

- (1) 用いられている式
- (2) サブ流域構成手法
- (3) パラメータの意味・単位・推定手法
- (4) 解析時間間隔
- (5) 降水データ（地点数・位置・時間間隔、サブ流域平均雨量推定手法の詳細）

※特に下記5点に留意して詳述すること。

- 1) 観測雨量からサブ流域毎の平均雨量の推定手法とその適用結果の詳細
- 2) サブ流域の主要出水の事後解析における
  - #1 流域平均雨量時系列から有効降雨時系列の推定手法とその適用結果の詳細
  - #2 有効降雨と観測流量の時系列からのパラメータ推定手法とその適用結果の詳細
- 3) 観測流量のない出水（カスリーンを意味する）における
  - #1 流域平均雨量時系列から有効降雨時系列の推定手法とその適用結果の詳細
  - #2 有効降雨と観測流量の時系列からのパラメータ推定手法とその適用結果の詳細
- 4) サブ流域から八斗島全体流域に至るモデル計算手法とその適用結果の詳細
- 5) 流出解析における数値計算プロセス（繰り返し計算など）手法の詳細